

地域で支えあうまちづくり懇談会 アンケート集計（H30.1.30三雲まちづくりセンター）

	三雲東	三雲	その他
①区長・まち協	3人	9人	
②民生委員・児童委員	5人	9人	
③保護司	1人	1人	
④更生保護女性会			
⑤健康推進員	2人		
⑥各種団体役員		1人	
⑦市民			1人
⑧市内事業所	2人	1人	
⑨その他		1人	16人
計	13人	22人	17人
参加者数	52人		

懇談会に参加しての感想・ご意見、言えなかった地域の課題

- ・高齢化がどんどん進んでいる地域のため、交通手段の問題や災害時の対応など不安なことが増えている。他の班の発表も似たような問題点が出ており、みんなの知恵を絞り、少しでも解決策を考えていきたい。
- ・災害時の避難については、場所・移動手段は早急、明確に情報をいただきたい。
- ・学区内の方々と課題についてできたのは良かった。学区内で取り組むべき大切なことは共有できたと思います。
- ・いろいろな立場の方が集まり、大いに良いと思います。
- ・湖南市は高齢化社会です。いろんなお話を聞かせていただいて、地域に役立たせていただけたら嬉しいです。口伝えでご近所の方やお友達に教えられたらと思います。
- ・時間の都合があったとは思いますが、市の説明が少し早すぎて、もう少しゆっくり聞きたかった。
- ・意見を言えない人、この場に来られない人の課題も拾う手段があればと思います。

- ・家の中にいる時、風邪雨の音で防災訓練が聞こえない。
- ・高齢化はまったなし、掛け声だけでなく、地域での支えあいの方法を考えなければならない。
- ・終末期医療の問題。延命治療をどうするか。自分で元気なうちに、はっきりと選択できるよう、法整備をしてほしい。非常に難しい問題だと思いますが、死を自分で選べるようにしてほしい。
- ・事業所内では知り得ない地域の住まれる方の声を聞くことができました。社会資源のひとつとして事業所でまちづくりのお役に立てれば嬉しいです。
- ・10年後、20年後まで想像できないので今を大切にされているのか先への取り組みが弱い点が心配です。共にどうより、個人(私)が大切にされすぎているようにも思います。
- ・若い人、20代から50代の意見交流ができればうれしいです。
- ・高齢化が進む中で、具体的な課題が出され、共有認識が持てた。ただ、これらの課題を解決するのはハードルは高いと感じました。また認知症対策も大きな課題である。
- ・意見・課題に対する市行政の一つずつの実行あるのみ。
- ・皆さんが日頃思っていることをこれから高齢化社会になっている不安等意見の出し合いができて良かった。
- ・民生委員が一人暮らしの家を訪ねるのも、一人で訪問するのも行きにくい。
- ・これからも地域で支えあう事が一番である。
- ・グループに分けて行ったことは大変良かったと思います。
- ・初めてのワークショップに出席し、今回は勉強しました。
- ・高齢者に感心が高いが、子ども・障がい者への福祉を考えられるように望みます。
- ・大変良かった。
- ・高齢化→ゴミ屋敷→空き家が今後の問題・
- ・近所づきあいの仕掛けを工夫する必要がある。

- どの地域も小名氏施問題が多い。
- 地域が抱える課題を知る事ができて良かった。今後の解決策がどのようになっていくのか興味がある。
- いろんな課題があり、みなさんがたくさんの事に気づいておられ、意見が集約できて良かったと思う。地域の中で、顔の見える関係性ができていればよいと思う。
- 高齢化が自分ごとに捉われるようになると具体的に話が進むのではないかと思います。
- 大変良いことだと思います。災害が発生した時の対応は区・自治会で年1回防災の日で訓練を行っているが、多くの高齢者への対応が難しいと思います。災害時の場所(小学校の体育館など)を誰がいち早く開けるかが課題であると思います。
- 高齢になった時に不安を感じるが、解決策が見当たらない。
- 吉永の通学路の現状や問題・課題などグループワーク後に話し合いのほうがり盛りが盛って、参加者からいろんな賛否が出ていた。
- 行政区別の要介護認定率を確認することができた。
- 多くの課題を一つずつ解決に向けて進めなければ懇談会の意味がなくなる。
- 区別の統計を見せていただき、実態が見えてきました。横のつながりを強め、地域の支えあいに役立てたいと思います。

